

生物資源科学部教職課程教育方針【令和5年度以降入学者】

【ディプロマ・ポリシー（教職課程修了／教員免許取得時に達成すべき到達目標）】

日本大学生物資源科学部所定の単位を修得し、高い倫理観と豊かな教養を身に付けた上で、グローバルな視野と生物資源科学に関する高度な専門性を有した者、学校教育に携わる者として教育の基礎理論に基づいた課題解決力のある実践性を身に付けた者、また、教育現場における協働的活躍が期待できる者と認められることが必要である。具体的には、以下の資質と能力を得ていること。

《広い視野と高度な専門性と実践的な指導力》

1. 地球環境を取り巻く諸問題に対し、グローバルな視野と高度な専門性をもって問題解決能力を発揮できる。
2. 自然科学または社会科学の諸領域に関して、確かな学力と高度な教育実践指導力を身に付けている。
3. それぞれの専門教科（理科、農業、水産、地理歴史、公民）の面白さや有用性を十分理解し、生徒に正確に伝えることができる。
4. フィールドサイエンス教育を実践できる教員として、実験・実技授業を積極的に展開できる。

《強い使命感と責任感及び豊かな人間力》

1. 生徒とともに成長し、「学び続ける教員」としての姿勢を身に付けている。
2. 自己研鑽力を維持し、積極的に新しい教育手法を取り入れ、授業改善に努めることができる。
3. 生徒理解に努め、発達段階に応じた心を通わせるコミュニケーション能力を身に付けている。

《他者との適切な信頼関係を築く能力》

1. 教育現場において、「チーム学校」の一員として協働的な貢献ができる。
2. 生徒との関係はもとより、教職員及び保護者、地域の関係者と協働的関係を築くことができる。

【カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成方針）】

優れた教員として十分な資質を具えた教員育成のため、各学科においては以下の目的に基づいて教育課程を編成する。

バイオサイエンス学科：

生命および生命現象を普遍的に理解するバイオサイエンスに関する幅広い知識と研究基礎力を活用し、理科・農業担当教員として生徒に生命およびそれに関わる様々な現象に知的関心を喚起させ、生徒の課題探求心および課題解決能力を育成できる能力の修得

動物学科：

動物学における「生命科学」「生命史」「保全と環境」の観点を基盤とし、高度で幅広い自然科学の専門知識・スキルとその経験によって得た実践力を活かし、生徒に自然科学への知的好奇心を芽生えさせる理科教育能力の修得

海洋生物学科：

海洋生物を育む海洋環境を理解し、保全・管理する海洋環境分野，多様な水圏生物の生命現象を理解する水圏生命分野，および水圏生物の特徴を生かして持続的に利活用する資源生産・利用分野の教育研究を通して、人類の豊かな生活との調和を創造する知識・技術を理科・水産科教育に活かすことができる能力の修得

森林学科：

人類の生存に不可欠な森林について、生物・生態・環境・資源・利用・バイオマスに関する講義や実習，実験を通して得られる知識や技能と、これを応用して理科・農業科教育に貢献できる能力の修得

環境学科：

地球環境，自然環境，都市環境の分野に関する専門知識や技術を基盤として、社会の持続的発展に貢献できる人材育成のための理科教育に活かすことができる能力の修得

アグリサイエンス学科：

植物性食資源・動物性食資源・フラワーサイエンスの学修により培った、生物資源の活用，持続的な食料生産や農産物の高品質化，健康で快適な生活や生態系の維持，自然環境の保全・修復に貢献できる幅広い知識を、理科・農業科教育に活かすことができる能力の修得

食品開発学科：

食品開発（創生，機能，安全）の基盤となる基礎科目や専門科目および実験・実習・研究を通じて得た体系的な知識と実践力を理科担当教員として広く活用できる能力の修得

食品ビジネス学科：

農業・食品産業界に生じている諸問題を発見し、生徒と一緒にその解決の方策を考えられる社会（公民）および農業科教員を目指し、生きて行くために欠かせない食の生産，流通，消費を中心とした経済社会全般に関わる知識の修得

国際共生学科：

「グローバルビジネス」「文化・社会環境」「情報・コミュニケーション」の3つの分野の学びを通して得た専門知識や課題解決力を、中学校の社会科，高等学校の地理歴史および公民教育に活かすことのできる能力の修得

獣医保健看護学科：

「基礎動物看護学」「応用動物看護学」「臨床動物看護学」の3分野で構成される、愛玩動物看護師（国家資格）の専門知識と技術を活かした理科教育に貢献できる能力の修得

獣医学科：

理科系教養科目である物理学、生物学、化学、地学に加え、獣医師に必要な高度生物学としての基礎獣医学、すなわち、さまざまな動物の体の仕組み・機能に関する専門知識を基盤とした獣医師ならではの理科教育能力の修得

【アドミッション・ポリシー（教職課程履修開始段階の資質）】

生物資源科学部教職課程では、高等学校（理科・農業・水産・地理歴史・公民）・中学校（理科・社会）において、新たな教育課題に対応できる優れた資質・能力をもった教員を目指す学生を広く受け入れます。特に、教育への情熱をもち、人間の成長・発達について関心が高く、生徒に対する教育的愛情をもっている学生を求めます。また、生物資源科学部における学習・研究活動によって、地球環境を取り巻く諸問題に対する関心を抱き、応用力を身に付けることで、自然科学的または社会科学的な見方・考え方を生徒とともに深めていく教育に意欲的に取り組む姿勢をもった学生の修学を求めています。

このアドミッション・ポリシーの理念に鑑みれば、教職課程の履修を始める学生は、初年次から自然科学系または社会科学系の一般教育科目を幅広く積極的に履修し修得することも求められます。